

図書館

蔵書数

2024年5月1日現在

図書		雑誌	
内国書	894,148冊	内国書	9,609種
外国書	236,520冊	外国書	3,561種
計	1,130,668冊	計	13,170種

年間入館者数

2023年度

学部生	大学院生	通信学生	教職員	卒業生	その他	合計
115,624人	2,384人	4,436人	7,341人	1,590人	3,927人	135,302人

図書館企画展（図書館1階中央展示ケース）

2023年度

展示月	月例展示名	展示内容
2023年4月～5月	学びのはじまり（前期・後期）	平安後期から明治初期にかけて、広く初等教科書として使用された〈往来物〉を特集。前期では往来物を代表する『庭訓往来』より、複数の異版刊本を展示。後期では、その他、目的や対象別に刊行された往来物を紹介。 【展示資料】 『庭訓往来』『字盡童子教』『諸商賣改算智恵車大全』『女今川(躰)鑑』『女今川寶』『女大學』『世界商賣往来』等
2023年6月～7月	みやこの夏景色（前期・後期）	京都の夏の風物詩を特集。前期では鴨川とかつて下鴨神社の糺の森で実施されていた納涼床の様子を、刊本や錦絵をとおして紹介。後期では祇園祭と人々をテーマに、山や鉾を曳き、神輿をかつぐ人々、楽しみに追いかける子どもの姿などを紹介。 【展示資料】 『花洛細見圖』『都名所圖會』『都林泉名勝圖會』『再撰花洛名勝圖會：東山之部』『都名所百景』『十二月あそび』等
2023年8月	踊る	「踊り」をテーマに、絵巻や刊本より様々な踊りの名場面を紹介。 【展示資料】 『花洛細見圖』『繪師草紙』『大こくゑひす』『都名所百景』等
2023年9月	観月	むかしから京都の観月の名所として名高い広沢池を中心に取り上げ、錦絵や名所図会をとおし、今とそれほど変わらない当地の様子を紹介。 【展示資料】 『都名所圖會』『拾遺都名所圖會』『山水畫帖』『再撰花洛名勝圖會：東山之部』『都名所百景』等
2023年10月～11月	頼光と四天王（前期・後期）	伝説の英雄・源頼光と彼の仲間たちをテーマに、その活躍を描いた絵巻や、特殊シワ加工をほどこしたちりめん本の絵本などを展示。 【展示資料】 『羅生門』『大江山奇譚』『酒呑童子由来：大江山千丈ヶ嶽』『The ogre's arm』『The ogres of Oyeyama』等
2023年12月～ 2024年1月	名所絵の世界 ～江戸・東京編～	江戸時代に刊行された絵入り地誌である『江戸名所図会』と、明治期に制作された『東京名所』を並べて展示。この約百年の間に大きく変化した東京の名所を比較して紹介。 【展示資料】 『江戸名所圖會』『東京名所愛宕山：山上ヨリ海上みはらし』『芝公園増上寺前之光景：東京名所』等
2024年2月～3月	名所絵の世界 ～名所図会編～	1700年代後半、京の書肆が企画制作した絵入り地誌『都名所図会』。好評を博し、後続作品も多数生み出した人気シリーズから、人々のいとなみを描いた場面を中心に紹介。 【展示資料】 『都名所圖會』『拾遺都名所圖會』『大和名所圖會』『和泉名所圖會』『攝津名所圖會』『東海道名所圖會』等

<常設展示貸出>（紫野キャンパス図書館1階入り口展示貸出コーナー）

「電子ブック展 そうだ！電子ブック使おっ！」に関連した図書を展示（教育後援会支援金）

法然仏教学研究センター

講演会

2023年度

開催日	開催形式	講師	講題	来場者数
2023年7月1日(土)	常照ホール (紫野キャンパス成徳常照館5階)	楠 淳澄 (龍谷大学文学部教授)	解脱房貞慶の法然浄土教批判の背景 —なぜに貞慶は『興福寺奏達状』『興福寺奏状』を 著して法然浄土教を批判したのか—	80名